

社会福祉法人梓友会 法人本部 令和6年度 事業計画

目次	
法人の沿革	2
組 織 図	3
品質方針	4
令和6年度 社会福祉法人梓友会 経営基本方針	5~7
令和6年度 社会福祉法人梓友会 法人本部 サービス基本方針	8
令和6年度 社会福祉法人梓友会 法人本部 年間事業計画	9
令和6年度 人材開発室 基本方針	10
令和6年度 人材開発室 年間事業計画	11
令和6年度 人材開発室 数値目標	12

法人の沿革

昭和63年10月24日
平成元年 7月 1日

社会福祉法人梓友会
第1種社会福祉事業

設立認可

特別養護老人ホーム梓の里
定員 50名
創設
老人短期入所事業
定員 4名
創設

平成 7年11月24日

特別養護老人ホーム梓の里
定員 80名
増築
老人短期入所事業
定員 14名
増築

平成 7年12月 1日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンター梓の里 (B型)
定員 15名
創設

平成10年 3月 1日

第2種社会福祉事業

在宅介護支援センター梓の里
開設

平成10年10月 1日

第2種社会福祉事業

ホームヘルプサービス梓の里
開始
(在宅介護支援センター内)

平成11年 1月11日

ホームヘルパー養成講座 (2級課程) 県知事指定

平成11年12月28日

第1種社会福祉事業

特別養護老人ホームみなとの園
定員 50名
創設
短期入所 20名

平成12年 1月20日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンターみなとの園
定員 15名
創設
在宅介護支援センターみなとの園
開設
ホームヘルプサービスみなとの園
開始

平成13年 4月16日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンター太陽の里
定員 15名
開始

平成13年11月12日

第1種社会福祉事業

特別養護老人ホーム太陽の里
定員 30名
創設
短期入所 5名

平成17年 2月25日

第1種社会福祉事業

介護老人福祉施設みくらの里
定員 80名
創設
短期入所 20名

平成17年 2月25日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンターみくらの里
定員 25名
創設

平成17年 3月 1日

在宅介護支援センターみくらの里
開設

平成24年 5月20日

第1種社会福祉事業

ホームヘルプサービスみくらの里
開始
老人短期入所事業太陽の里
定員 10名
増築

平成26年 4月 1日

第2種社会福祉事業

小規模多機能型居宅介護みくらの里
定員 24名
創設

第2種社会福祉事業

居宅介護支援事業所を統合、名称変更 (梓の里、みなとの園は休止)

ケアプランセンターみくら
開設
企業主導型保育事業 みくら保育園
創設

平成29年 4月 1日

公益事業

平成30年 3月 5日

第1種社会福祉事業

介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
定員 90名
創設
短期入所 10名

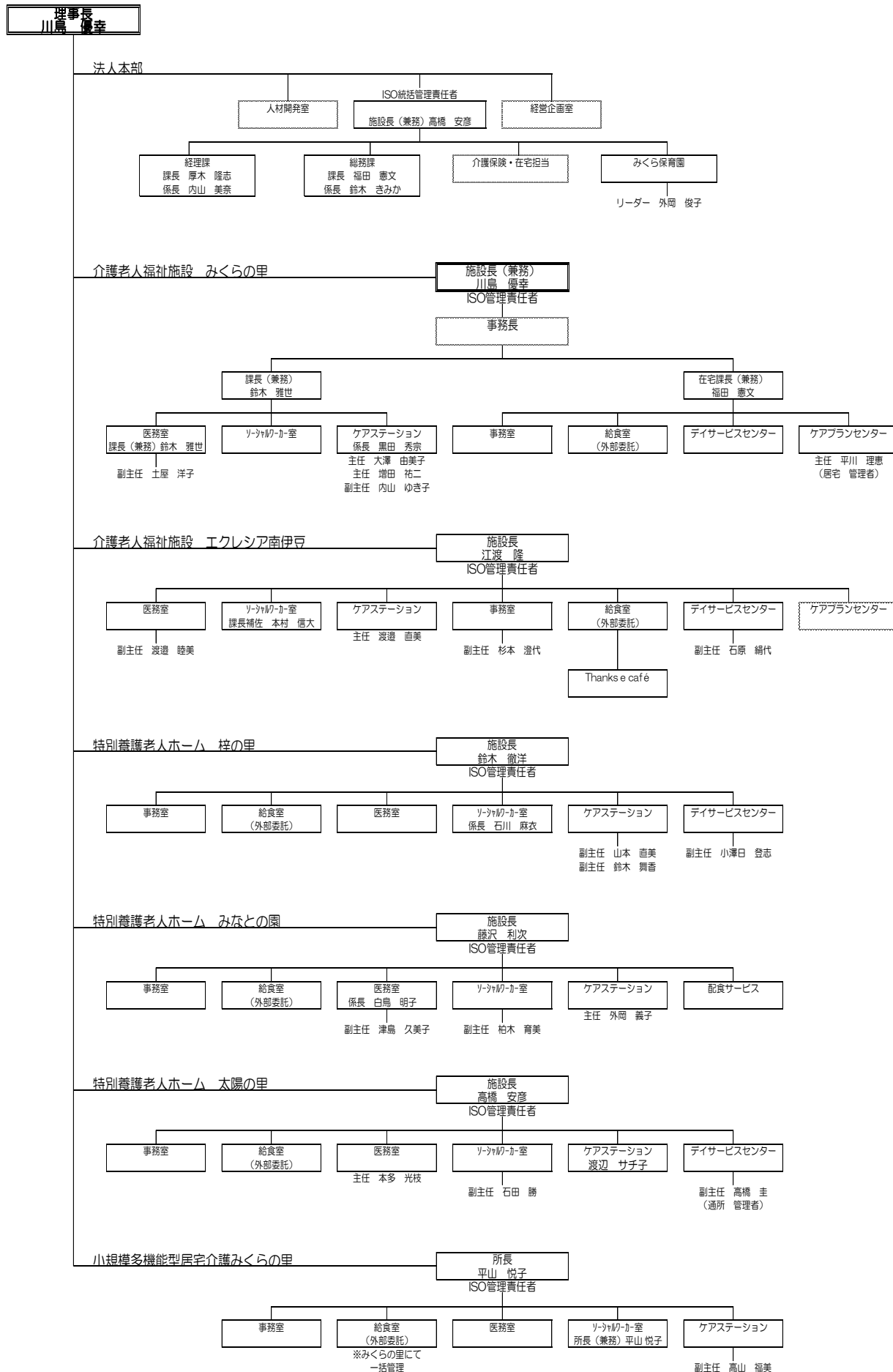
平成30年 3月 5日

第2種社会福祉事業

デイサービスセンターエクレシア南伊豆
定員 20名
創設
※現在は定員 25名

法人本部

組織図



品質方針

下田市と賀茂地域に最高のケア、個人の選択権、
QOL（生活の質）を最大限にする総括的な
高齢者の福祉サービスを提供する

1. 選ばれる施設を目指して、顧客満足度の向上に努力する。
2. 自立支援をQOL（生活の質）を重視した、良質の介護サービスを提供する。
3. ノーマライゼーションの実現に向けて、地域福祉の増進に貢献する。

令和6年度 社会福祉法人梓友会 経営基本方針

1. 持続可能な法人経営を目指して

「社会福祉法人梓友会として 2024 年は、法人経営基盤を強化し組織的にはデジタル（ICT・介護ソフト・アプリ活用等）を推進し、限られた人口と制限された社会資源の中、地域連携体制を広範に検討しつつ賀茂地区の未来につなげる地域共生社会の実現に向けた公益的役割を果たすことを使命とする。

現在、介護業界は70万人の不足が懸念されており人材不足は、介護保険制度が抱える最も大きな課題になっている。こうした中、2024年厚生労働省は介護報酬を全体で1.59%引き上げることに決定しました。また、全国の特養では、入所待機者の減少が続き高齢者人口の増加ペースが過疎化中心に落ち着いてきている状態になっている。また、特養は介護保険上職員の配置基準が手厚いのが特徴で経営上元々、定員の95%の稼働率を保つことが黒字化の目安となっている。

経営の外部環境からみれば、ここ数年のコロナ禍において在宅系サービスの利用控えも経営悪化に拍車を掛けています。一方人材確保の面では、依然として人員確保が困難なため、各特養では利用者の定員を確保できずに利用を制限せざるを得ない運営を強いられて、収益悪化の状態が半ば常態化しているところが続いています。また、社人研の2018年将来推計をみると75歳以上人口が2015年推計より減少自治体が2045年に減少する割合が40%、つまり地方の過疎地ほど介護が必要な高齢者は減少傾向がみられており地方の特養の事業継続が困難な法人が増えると考えられている。静岡県の医療構想資料では、賀茂圏域の介護・医療の需要面の数値からは2040年より前に需要が逡減していき、働き手の確保も非常に困難となることが専門家より指摘されており適正規模の経営が求められている。

このような中、経営規模の縮小に向かう法人が多くなってきているのが現状であり社会福祉法人の公益性に鑑み地域の福祉を守り維持することは、絶対に必要なことではあるが厳しい現状があります。すなわち、限られた専門職人材の範囲や地域にとっての必要な社会資源の規模を維持する経営が必須になって来ている訳です。

「経営に解は無い」と言われてはいますが、現在持ち得る当法人の経営資料を基にすみやかに判断していくことが肝要であるということに異論はないはずで

す。この先の社人研の人口推計及び医療構想の見通しを参考にして、経営規模の適正化を見据えながら、経営の外部環境・内部環境を精査し、将来の経営に生かす計画を作成し持続可能な経営の在り方を模索したい。

特に今年度は、事業見直しのための検討委員会を設置し、将来の事業の在り方を計画し、年度末に報告書を作成したいと考えます。当法人の現有資源の有効活用を図り、経営環境の急変に備える収益性・効率性・安定性について改善を目指します。特に財務処理で活用するDataの正確性と適時性の向上により財務戦略の立案実行が可能となるようにデジタル上で実現することを目標としたい。

2. コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止

最近の社会福祉法人・運営施設において経年不適切事案やコンプライアンス違反の事例が散見されている。法人経営のガバナンスの強化は自らの組織運営の中で明確な意思を持ち具体化を図らなければならない。各法人・施設において専門職者および階層別職員の学びの場を設定するとともに各職員間で情報交換がしやすい職場環境を整え管理職者の税務・法務その他の知識習得の強化を図る。

専門職者の倫理綱領を理解し、法人の理念に基づいた経営と運営の推進を実施するために、社会福祉法および関連法令を学ぶ研修体制を整備します。具体的には、介護保険法・老人福祉法・高齢者虐待防止法、地域における医療及び介護の総合的な確保の推進に関する法律、労働法などの適切な理解を得るための教育機会を増やしていきます。

また、利用者の人権に配慮出来る職員の育成を図るため、関連諸規定を見直し、マニュアル等の改定を行い、コンプライアンスに配慮した経営を図ります。社会福祉法人は、法人・施設内の業務に留まらず、地域や街づくりにも通用する高い能力や経験的スキルを持つ人材を増やし、地域での円滑な労働移動の実現にも寄与していかなければなりません。不適切事案・事例検討マニュアル等も作成し、職員自らが倫理性の高い意識を持ち、虐待防止に努めることが必要です。また各施設における監視カメラ等の設置個所について専門家と相談し、設置するよう準備を進めます。

このような組織化と仕組みづくりについては専門家を通しながら未来を担う次責任世代の組織体制の在り方を検討していく。また職員のやりがいや業務に対する誇りエンゲージメントを高めるために法人内の仕組みを図り併せて推進していく。法人内・施設において健康経営を実施して卒友会で働くすべてのビジネスパートナー（業務委託職員・派遣を含む）が生き生きと働ける職場環境を整備する。

3. 人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営

社会保障の最重要課題は、少子化と人口減少とされています。例えば、一昨年の合計特殊出生率 1.3%という過去4番目の低水準は、当然に賀茂圏域にも大きな影響を与えております。とりわけ労働生産人口の減少は、制度維持を考えてみても、今後の地域の福祉・介護の支え手をどのように確保していくかという大きな経営課題をもたらしています

ご利用者のニーズを適正に把握し、尊厳に配慮できる各種介護サービスの充実を目指すためには、専門性の向上と地域における多職種連携地域包括ケアシステムの推進が基本的に重要となります。

長年にわたる課題は、質の高い介護人材の確保であり、この課題を克服する道筋は、人材確保について多様な選択肢を持ちながら、あわせてテクノロジーを活用しICT導入による既存の介護現場の業務改善を積極的に実施していくことにあります。情報の共有とDX化の推進と利用者サービスにおける質の向上に併せて職員の情報のリテラシーの向上

を目指した生産性の高いシステム運営の体制構築を実施していく。

現在、当法人施設では静岡県モデル事業を行って来ていますが、その実施結果等を踏まえた業務内容の分析を科学的に行い、各職員の業務の見直しを実施し、ポイントを押さえた効率的な業務内容の改変を具体的及び実践的に目指します。このような進捗を確認しながら現場における現状のICT導入の課題と成果について年次報告書を作成して各職員に周知し拡大を図る。社会福祉法人のイメージアップを図り、一般の方々にも法人・施設がどのような地域課題に取り組みその成果を上げているかなどについて分かりやすく地域の方々に継続的に紹介していくことが従前にも増して重要になって来ている。

情報発信については、施設紹介や職員紹介の充実を図り、法人と施設の地域ブランド力の再定義を行うためSNS等の内容の充実と刷新を行い、地域に対して魅力ある情報発信の方法を検討し発信媒体の再検討と発信内容についてカテゴリー別に最新の内容に変更を図ります。

例えば求人についても年齢別・地域別に訴求内容を工夫する。また職場環境改善のため、職員等を対象にアンケートを実施し、職場改善の方法を検討・提案し、メンタルケアを行うとともに各種ハラスメントの防止に努めます。倍速消費世代を視野に入れながら、施設の各種リーフレットについても適時見直しを行います。次に外国人職員の確保については、現状 12 名の特定技能実習生の受け入れにとどまらずミャンマー・インドネシア・スリランカ・インドなど今後の人材動向を見ながら拡大を検討するとともに引き続きアジア各国と交流・支援を今後も継続する。

昨今、大規模災害が相次ぐ中、平時からの体制整備や財政的支援を検討していく必要性があります。災害時における支援活動の強化については、避難所等において高齢者・障害者等、福祉的配慮が望まれる避難者への対応に関する助言や環境整備などの役割を担う災害派遣福祉チーム静岡 DWAT を主体に各専門職員の派遣を継続的・積極的に実施していく。

社会福祉法人梓友会 法人本部
令和6年度 サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 持続可能な法人経営を目指して</p> <p>(1) 拠点施設等の適正な数値目標管理</p> <p>(2) 法人マネジメントの徹底</p> <p>(3) 有事に備えた事業継続計画(BCP)訓練の実施と修正推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年と同様に、各拠点施設等の数値目標を明確化し、進捗管理や課題を適切に把握し稼働率の安定化を目指し財務規律強化に努める。 ・ 毎月の施設長会議・経営調整会議、年2回(5月、10月)のマネジメントレビューを通しての実績管理や、評価不適合管理、さらには、直接現地へ足を運び現地確認、分析等により対策を協議し徹底を図る。 ・ 能登半島地震を教訓に同様地理状況である伊豆半島で災害対策のため、策定した各種BCPを基に各施設で訓練を実施し、より実用的なBCPに修正できるよう発信していく。
<p>2. コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止</p> <p>(1) コンプライアンス経営の推進</p> <p>(2) 不適切事案・事例検討含む研修の実施、設備環境の検討</p> <p>(3) 介護の質の確保及び職員の負担軽減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の理念に基づいた経営と運営の推進のため専門職者の倫理綱領、関係法令等の研修体制の整備をする。 ・ 法人内で起こりうる職員の不適切事案に対する意識向上を目的とし、顧問弁護士、社労士と連携しながら研修会を実施していく。研修を通して、中間管理職層含む管理職の意識向上に向けた知識を養っていきたい。 ・ 介護現場の生産性向上に資する取組を推進するため、現場における課題を抽出し、各施設等の状況に応じて、サービスの質の確保と職員の負担軽減の方策を検討する会議等を開催する。
<p>3. 人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営</p> <p>(1) 人材確保に向けたチャネル活用</p> <p>(2) 技能実習生の安定雇用</p> <p>(3) ICT機器の有効活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々採用活動が厳しくなる現状を踏まえ、昨年度より業務委託を行っている採用会社を活用し、より効果的な運用を図れるようにする。公式HPでの採用サイトを定期的に更新し、就職希望者からも魅力ある内容に変更する。また、就職希望者の目に留まるように、SNSを利用した就職情報発信の回数を増加する。 ・ 令和5年4月に技能実習生2期生を受入れ済。令和6年9月に技能実習生3期生を受入れ予定となっている。今後はみくらの里以外の施設でも、受入れができるように生活面、日本語学習のサポートを実施する。 ・ 人材不足を補うため有効的なICT機器を導入して活用する。また、現在導入している介護ソフトをより有効活用できるように仕様変更を行う。

社会福祉法人梓友会 法人本部
令和6年度 年間事業計画

行	事	内	容
令和6年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人入職式 ・インターンシップ受入【オンライン開始】 ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 ・【施設企画】施設内研修 		
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員フォローアップ研修Ⅰ ・法人オリエンテーション① ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 ・マネジメントレビュー 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 第1回理事会 ・令和6年度 第1回評議員会 ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ受入 ・介護職員実務者研修（通信講座開始） ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 第2回理事会 ・介護職員実務者研修（スクーリング） ・合同説明会、法人説明会【オンライン】 		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人オリエンテーション② ・介護職員実務者研修（スクーリング） ・【本部企画】施設内研修 ・合同説明会、法人説明会 ・マネジメントレビュー 		
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO更新審査 ・育成担当者研修 ・介護職員実務者研修（スクーリング） ・介護福祉士受験対策全国統一模擬試験実施 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 第3回理事会 ・【施設企画】施設内研修 		
令和7年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人オリエンテーション③ 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 第4回理事会 ・【本部企画】施設内研修「合同発表会」 ・新卒内定者オリエンテーション 		

人材開発室
令和6年度 基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>人材確保強化と職場環境の革新</p> <p>(1) 介護職員の介護福祉士資格取得に向けた支援を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度に引き続き、ユマニテクキャリアアカデミーと協力し、介護職員実務者研修を開催することで、内外の介護人材の介護福祉士取得への支援を行う。
<p>(2) 将来を見据えた人材育成への取り組み (地域福祉教育への取組み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な社会保障を維持していくうえで支え手をどう確保していくのが最も重要な課題である。賀茂圏域の人口減少は顕著であり、将来の人材確保のためにも教育等の中で、福祉・介護の正しい理解を進めることが必要である。よって、地域社会における福祉・介護の啓発活動として、地元の小中学校や高校での出張勉強会を開催する。
<p>(3) 職場環境改善の推進 (生産性の向上を通じた働きやすい職場作り)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 働きやすい職場作りの一環として、従来のマネジメント方法では難しかった職員が上司に気楽に相談できる 1on1 面談を実施できるよう事前準備と体制構築を行う。
<p>(4) 無資格者の認知症介護基礎研修受講実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 無資格者へ義務付けられた「認知症介護基礎研修」を昨年度中途採用した職員及び、新規入職した職員に向け、e-ラーニングや外部資格団体等の研修会を利用して受講させる。

人材開発室
令和6年度 年間事業計画

	行 事 内 容
令和6年 4月	
5月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉のお仕事魅力発見セミナー
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（通信開始）
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（スクーリング開始） ・福祉のお仕事魅力発見セミナー
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（スクーリング） ・出張勉強会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修（スクーリング） ・介護福祉士受験対策講座（全国統一模擬試験実施）
12月	
令和7年 1月	
2月	
3月	

人材開発室
令和6年度 数値目標

開催内容	目標値	内 容
介護職員実務者研修 (通信講座)	15名	ユマニテクキャリアアカデミーと連携し、介護職員実務者研修の通信講座を実施し、賀茂地域における介護福祉士の養成に寄与する。
介護福祉士受験対策講座 (団体模試)	4名	本番を再現した模擬試験や試験情報の発信、受講者のモチベーションアップと合格率の向上を目指す。

社会福祉法人梓友会 みくら保育園 令和6年度 事業計画

●企業主導型保育事業 みくら保育園

目次

施設の概要	2
令和6年度 みくら保育園 サービス基本方針	3
令和6年度 みくら保育園 年間行事計画	4
令和6年度 みくら保育園 数値目標	5

施 設 の 概 要

施設の名称	みくら保育園
所在地	静岡県下田市吉佐美1077番地16
設置主体	社会福祉法人梓友会
理事長	川島優幸
責任者	厚木隆志
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可
開設	平成29年 4月 1日 みくら保育園
事業定員	定員 19名
敷地面積	1,990.32㎡ (小規模多機能型居宅介護を含む)
建築面積	みくら保育園 木造平屋建 117.6㎡

みくら保育園
令和6年度 サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
1.持続可能な法人経営を目指して	<ul style="list-style-type: none"> • 職員のお子さんを対象にした職員枠と地域の保育ニーズに対応する地域枠をバランスよく組み合わせ、保育事業単体として適切な収支バランスを取り、財務力強化に努める。 具体的には、地域の教育・保育及び社会福祉ニーズに対応し、財務強化を図るため、引き続き、連携推進加算の取得に取り組む。
2.コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止	<ul style="list-style-type: none"> • 各種のマニュアルに基づき、適切な対応を行うことにより関係法令の遵守や事故防止に努める。引き続き「感染症対応マニュアル」については、新型コロナウイルスをはじめとした様々な感染症リスクに対応出来るよう、必要な見直しを行う。 • 不適切な保育の未然防止や園内事故の予防対策として、「保育安全計画」やガイドライン、ヒヤリハット事例を収集し全職員で確認・検討を実施する。そのことにより、職員の意識の向上を強化し、安心・安全な保育サービスを提供する。
3.人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営	<ul style="list-style-type: none"> • 育休中の職員の職場復帰ニーズに対応し、職員が安心して従前の仕事に復帰できる環境づくりを行う。 • みくら保育園の特徴である「“こころ”と“からだ”と“あたま”を育てる」を総合的に提供されるように創意工夫を図り、発達に合わせた環境作りに取り組む。「ミッケルアート」「英語教育」の更なる活用を進め、知育への取り組みを推進する。 • 児童育成協会主催の「施設長等研修」及び「保育安全研修」を年1回受講し、行政主催のアレルギー対策及び感染症予防対策等の研修会を受講し、保育士の資質の向上を意識し、業務に必要な知識や技術を習得し専門性を高める。

みくら保育園
令和6年度 年間行事計画

	みくら保育園（行事）	地域の行事
令和6年 4月	こいのぼり見学	大賀茂れんげ祭り
5月	内科検診	小学校運動会
6月	歯科検診 交通安全教室	田植え
7月	七夕会 水遊び開始	
8月	水遊び（小規模交流） すいか割り	下田太鼓祭り
9月	敬老会（小規模交流）	大賀茂フェスティバル
10月	ハロウィンパーティー	稲刈り
11月	園外保育 イルミネーション見学	イルミネーション点灯式 消防団パレード
12月	小学校マラソン大会応援 クリスマス会	小学校マラソン大会
令和7年 1月	凧揚げ 交通安全教室 どんど焼き見学	どんど焼き
2月	節分豆まき 下高マラソン大会応援	下高マラソン大会
3月	ひな祭り会 お別れ遠足 お別れ会	桜祭り

※毎月1回避難訓練・発育測定・誕生会（誕生児のいる月）

みくら保育園
令和6年度 数値目標

部 門	目 標 値	内 容
みくら保育園	契約者数 16 名以上 [0～1 歳児 11 名以上] [2～5 歳児 5 名以上]	<p>職員採用及び定着に寄与出来るよう、保育園の活用を促進する。</p> <p>また、引き続き、地域枠の受け入れも積極的に行い、みくら保育園の魅力を地域に伝えると共に、地域の保育ニーズに対応していく。</p>

社会福祉法人梓友会 特別養護老人ホーム梓の里 令和6年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム梓の里
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所梓の里
- 指定通所介護事業 デイサービスセンター梓の里

目次	
施設の概要	2
令和6年度 特別養護老人ホーム梓の里 施設サービス基本方針	3
令和6年度 特別養護老人ホーム梓の里 年間行事計画	4
令和6年度 特別養護老人ホーム梓の里 数値目標	5

施 設 の 概 要

施設の名称	特別養護老人ホーム梓の里		
所在地	静岡県下田市加増野181番地1		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川島 優 幸		
施設長	高橋 安彦		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成 元年 7月 1日 介護老人福祉施設梓の里 老人短期入所梓の里 平成 7年12月 1日 デイサービスセンター梓の里 平成10年 3月 1日 在宅介護支援センター梓の里（休止） 平成11年 1月11日 ホームヘルプサービス梓の里（休止）		
各事業定員	特別養護老人ホーム	80名	
	老人短期入所（ショートステイ）	14名	
	デイサービスセンター	1日30名	
敷地面積	3,306.23 m ²		
建築面積	特別養護老人ホーム		
	鉄筋コンクリート及び鉄骨3階建	3,115.55m ²	
	デイサービスセンター		
	鉄筋コンクリート造	336.66m ²	
	在宅介護支援センター		
	鉄筋コンクリート造	96.9 m ²	
	合 計	3,549.12m ²	

介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号

指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム梓の里）

平成12年 4月 1日 2270200047

指定短期入所生活介護事業所（老人短期入所梓の里）

平成12年 3月 1日 2270200047

指定通所介護事業所（デイサービスセンター梓の里）

平成12年 3月 1日 2270200047

特別養護老人ホーム梓の里 令和6年度 施設サービス基本方針

運営目標	目標実現のための具体的方法
1.持続可能な法人経営を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉分野における施設の持つ専門性の高いノウハウを地域に還元することで、地域全体の福祉サービスの質向上に貢献するとともに、地域福祉における法人のプレゼンスを着実なものにしていく。 ① 法人後見事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 静岡県社会福祉協議会主催の「持続可能な権利擁護支援モデル事業」に参画し、法人後見事業受託への体制整備と着実な受託実現を図る。 ② 災害対応 <ul style="list-style-type: none"> 地域災害避難所としての役割を果たすべく、近隣地域住民の方々への情報開示と災害発生時の迅速対応を可能とするよう平時からの訓練等を行う。 また、他地域の被災時に機動的な応援体制が取れるよう、静岡 DWAT への中堅若手職員の新規登録を実施していく。
2.コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内外のコンプライアンス意識の齟齬を解消し、ご利用者の尊厳への配慮を常に優先し、終末期のご利用者・ご家族の心情に寄り添ったサービス提供を完遂していく。 ① 中堅職員の育成 <ul style="list-style-type: none"> 福祉の本懐を常に忘れず、困難な状況の中であってもサービスの質を担保する施策を自ら考え行動できるよう、中堅職員を実践的研修へ派遣する。 ② 不適切事案と重大事故の再発防止 <ul style="list-style-type: none"> 事故防止検討委員会等を通じ、重篤な事案が再発することのないよう、その防止に力点を置いた事象分析を行い、再発防止に努める。
3.人材確保対策と職場環境の充実を図る経営	<ul style="list-style-type: none"> ・就労改善に対する指摘を真摯に受け止め、多様な働き方を受容する中、各職員の健康管理とワークライフバランスに配慮した職場への改善を図っていく。 ① 労務管理の適正化 <ul style="list-style-type: none"> 業務日課の見直しとともに、個々人の業務の適正化を図り、現場業務の効率化や分業、適切な人材配置等により、適切な労働環境を維持していく。 ② ICT の推進 <ul style="list-style-type: none"> 介護 ICT 導入ガイドラインを参考とし、他施設での ICT 推進事業での活用事例を横展開することにより職員の働き方改善を推進する。 今期より開始した ICT 看取り診断に関し、着実に実績を積み上げていく。

**特別養護老人ホーム梓の里
令和6年度 年間行事計画**

令和6年度	介護老人福祉施設 ショートステイ	デイサービス	給食室
4月	お花見 松崎桜並木鑑賞	お汁粉	お花見弁当
5月	八十八夜 美味しいお茶と和菓子	八十八夜 美味しいお茶と和菓子	端午の節句（柏饅頭） 母の日（散らし寿司） 八十八夜（和菓子提供）
6月	紫陽花見学 松崎紫陽花鑑賞	映画鑑賞	父の日（散らし寿司） デザートバイキング
7月	そうめん会	七夕祭り	開設記念弁当 手作り柏饅頭 七夕素麺・お好み焼き 土用丑の日（うなぎ）
8月	かき氷会	祭り遊び	かき氷会
9月	敬老会（ユニット）	敬老週間	敬老の日祝い膳 重陽の節句（栗料理） 十五夜（里芋） 敬老週間（ケーキ提供） お彼岸
10月	秋のミニ運動会	焼き芋	十三夜（豆・栗） 運動会弁当 ハロウィン（南瓜料理）
11月	梓の里バザー店	梓の里バザー	デザートバイキング
12月	クリスマス会	クリスマス会	冬至（南瓜料理） クリスマスランチ提供 Xmas ケーキ提供 大晦日（年越し蕎麦）
1月	お正月会	正月遊び	お正月（おせち料理） 七草粥・小正月（小豆粥） 鏡開き（汁粉）
2月	節分豆まき（ユニット）	節分（豆まき）	節分 お鍋会
3月	外気浴週間	ひな祭り	桃の節句（散らし寿司） お彼岸

その他 《栄養》・バイキング・手作りおやつ・昼食作り等の食イベントを行う。

**特別養護老人ホーム梓の里
令和6年度 数値目標**

部 門	目標値	内 容						
特別養護 老人ホーム ／短期入所	3ユニット 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3ユニット運営の安定稼働を図る。 ・ 1ユニット夜勤職員6名の配置を前提に、管理床数26を目途とした運営を行う。 						
		ユニット	1	2	3	計	稼働	目標値
		特養	24	24	22	70	95%	67床
		短期	0	2	4	6	92%	5床
		計	24	26	26	76	95%	72床
(短期については担当者の配属を前提とする。)								
デイサービス	稼働率70% 1ヵ月 延べ平均 500名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に近隣ご利用者の利用ニーズを主眼に置いて、一日当たり24名の利用を目途に調整を図っていく。 (デイルーム床面積113㎡における適正人数を勘案) 						

社会福祉法人梓友会 特別養護老人ホームみなとの園 令和6年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホームみなとの園
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所みなとの園
- 南伊豆町委託事業 配食サービスみなとの園

目次	
施設の概要	2
令和6年度 特別養護老人ホームみなとの園 施設サービス基本方針	3.4
令和6年度 特別養護老人ホームみなとの園 年間行事計画	5
令和6年度 特別養護老人ホームみなとの園 数値目標	6

施 設 の 概 要

施設の名称	特別養護老人ホームみなとの園		
所在地	静岡県賀茂郡南伊豆町湊638番地1		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川島 優 幸		
施設長	藤 沢 利 次		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成11年12月28日	特別養護老人ホームみなとの園	
		老人短期入所みなとの園	
	平成12年 1月20日	デイサービスセンターみなとの園	
	平成12年 1月20日	在宅介護支援センターみなとの園	(H18年3月31日廃止)
	平成12年 1月20日	ホームヘルプサービスみなとの園	
	平成13年 4月 1日	配食サービス事業開始	(南伊豆町より委託)

各事業定員	特別養護老人ホーム	50名
	老人短期入所（ショートステイ）	20名
	配食サービス事業	10000食

敷地面積 3,400.00 m²

建築面積	特別養護老人ホーム	
	鉄筋コンクリート地下1階地上3階建	2,822.77m ²
	デイサービスセンター	
	鉄筋コンクリート造	460.88m ²
	在宅介護支援センター	
	鉄筋コンクリート造	108.66m ²
	合 計	3,392.31m ²

介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号

- 平成12年4月1日 指定介護老人福祉施設[2270100080]
(特別養護老人ホームみなとの園)
- 平成12年3月1日 指定居宅介護支援事業所[2270100080] (H27年10月1日廃止)
(在宅介護支援センターみなとの園)
- 平成12年4月1日 指定訪問介護事業所[2270100080] (R2年3月31日廃止)
(ホームヘルプサービスみなとの園)
- 平成12年4月1日 指定通所介護事業所[2270100080] (R2年3月31日廃止)
(デイサービスセンターみなとの園)
- 平成12年4月1日 指定短期入所生活介護事業所[2270100080]
(老人短期入所みなとの園)

特別養護老人ホームみなとの園
令和6年度 施設サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 持続可能な法人経営を目指して</p> <p>(1) 稼働率の安定化</p> <p>(2) 継続可能な運営体制</p> <p>(3) 老朽化設備更新と経費節減</p> <p>(4) 社会・地域貢献活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 施設運営の適正化を図るために、予算の執行において収益を担う短期稼働率の安定化に尽力する。担当者と定期的に稼働率や新規申込実績、営業実績の情報確認を行い、稼働の安定化を図る。又、利用時の過ごし方について好評である脳トレ等を提供し満足度向上となるサービスを実施する。 • 自然災害BCP、感染症BCPに基づいた訓練等を行い、定期的に検証しながら改訂し、福祉施設の公益性の役割を果たす。自然災害発生時に備えて防災関係備蓄品を増し緊急時に備える。又、感染症拡大を最小限に抑える為、基本的な感染対策の徹底を図り継続可能な運営体制を確立する。 • 利用者の安心と安全を確保するために、老朽化している施設設備を計画的に整備し、修繕費の計画的執行を目指す。また、更なる経費上昇が予測できるので、代替商品がある物は随時変更し、経費節減の取組みを実施する。経理状況を職員会議で報告し、職員に周知を図り、施設全体で経費削減に努める。 • 日頃より節電、節水を行なう様に各会議での周知を図るため、定時に館内の点検等を行う。 • 地域貢献内容を正しく理解して頂くよう周知方法を検討し、前年を上回るように「認知症カフェ（南伊豆町実施事業）」を開催し、介護者への不安等の解消に努める。また、短期入所介護事業、配食事業を通じて、自治体や居宅ケアマネと連携し、地域課題二一ズに出来るケアの実現を図る。
<p>2. コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止</p> <p>(1) 不適切事案防止</p> <p>(2) 法令順守</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 虐待防止委員会や安全対策推進委員会等を通じて、不適切事案の防止を図る。また、職員が高い人権意識を持ち、業務が遂行できるよう、お茶の水学院の動画を有効に活用し研修や定期面談の実施並びに不適切事案の発生防止に努める。 • 公用車運転時前後にアルコールチェックを行い、飲酒運転撲滅を図る。又、定期に安全運転に関する資料等を掲示し、通勤・退勤時にも安全運転や歩行者優先の運転を心掛ける。 • 介護保険法等の関係法令を順守する為に定期的に資料の回覧等を行う。又、虐待関係についても年4回お茶の水学院の動画を視聴し自己点検を行い、振り返りを促す。

<p>3. 人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営</p> <p>(1) 人材定着・取り組み</p> <p>(2) ICT 機器の更なる活用による労働環境改善</p>	<ul style="list-style-type: none">• 人材の採用定着育成を見直し、入職した職員の定着を図るため、職員の個々に合致する研修計画を作成し、不安等が生じない職員育成を行う。育成担当者だけでなく、職場全体で育成を担う意識を醸成する。また、既存の職員に関しては「明るく元気よく楽しく」を念頭に置き、チームでサービスが提供出来るように努める。• 職員のメンタルヘルスや腰痛予防等にも配慮し定期的に情報を発信する。• 外国人職員(特定技能実習生)の受け入れがあった場合は不安を払拭できるよう、全職員一丸となりフォローする。• 導入しているICT機器を有効に活用し業務省力化を図り負担軽減を行いながら業務改善を行う。• 科学的介護情報システム(LIFE)を活用した質の高い介護を実現するため情報を蓄積しデータ収集の仕方や担当者を定める。又、情報については各会議で報告を行い、それを元にケア計画等の見直しを行う。
--	--

特別養護老人ホームみなとの園
令和6年度 年間行事計画

	特 養・ショート	地 域	栄養室関係
令和 6年 4月	おにぎりバイキング	(仮)認知症カフェ (カフェみなと)	ソフト食の日 おやつ作り
5月	南伊豆町内ドライブ	カフェみなと	子供の日 母の日 ソフト食の日 おやつ作り
6月	あじさい祭り見学 総合防災訓練	カフェみなと	父の日 ソフト食の日 おやつ作り
7月	ビアガーデン(居酒屋)	カフェみなと	七夕 ソフト食の日 おやつ作り
8月	弓ヶ浜花火大会見学 ハローボランティア受入 かき氷会	カフェみなと	土用の丑の日 ソフト食の日 おやつ作り
9月	敬老会(表彰式)	カフェみなと	敬老の日 ソフト食の日 おやつ作り
10月	フェスタ南伊豆見学 小学校・こども園交流	カフェみなと フェスタ南伊豆	秋の運動会おにぎりランチ ソフト食の日 おやつ作り
11月	湊区祭り見学 11/1(金) 寿司祭り 総合防災訓練	カフェみなと	南伊豆太鼓祭り 寿司バイキング ソフト食の日 おやつ作り
12月	クリスマスパーティー (ケーキ作り、ゲーム大会)	カフェみなと	クリスマスランチ ソフト食の日 おやつ作り
令和 7年 1月	鍋パーティー(707毎)	カフェみなと	おせち料理 ソフト食の日 おやつ作り
2月	節分会(707毎) 肉(2/9)の日	カフェみなと	節分 ソフト食の日 おやつ作り
3月	雛祭り(707毎) 寿司バイキング	カフェみなと	ひな祭り ソフト食の日 おやつ作り

特別養護老人ホームみなとの園
令和6年度 数値目標

部 門	目 標 値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 98.5% (月平均空床数 23 床以内) 認知症自立度Ⅲ 65%以上または 介護度 4・5 70%以上	特養の稼働率は 98.5%を維持できる ように入退所手続を迅速に行い、空き ベッドを作らないように努力する。 優先入所の指針に従い、認知症自立度Ⅲ 以上の割合 65%以上、または介護度 4・5 の割合 70%を維持し、日常生活 継続支援加算の算定要件に準拠した利用 者獲得をする。
短期入所	稼働率 85.0% (月平均空床数 90 床以内)	必要性の高い利用者の長期利用や断らな いサービスを提供する事で稼働率 85.0%以上を目標とする。

社会福祉法人梓友会 特別養護老人ホーム太陽の里 令和6年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 介護老人福祉施設太陽の里
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所太陽の里
- 指定通所介護事業 デイサービスセンター太陽の里

目次	
施設の概要	2
令和6年度 特別養護老人ホーム太陽の里 施設サービス基本方針	3～4
令和6年度 特別養護老人ホーム太陽の里 年間行事計画	5
令和6年度 特別養護老人ホーム太陽の里 数値目標	6

施 設 の 概 要

施設の名称	特別養護老人ホーム太陽の里		
所在地	静岡県賀茂郡西伊豆町仁科 1134 番地（特養およびショートステイ） 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科 393 番地 西伊豆町福祉センター内（デイ）		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川 島 優 幸		
施設長	渡 辺 サチ子		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成13年11月12日 特別養護老人ホーム太陽の里 老人短期入所太陽の里 平成13年 4月16日 デイサービスセンター太陽の里		
各事業定員	特別養護老人ホーム	30名	
	老人短期入所（ショートステイ）	10名	
	デイサービスセンター	1日	30名
敷地面積	2,473.30 m ²		
建築面積	特別養護老人ホーム		
	鉄筋コンクリート2階建	1,649.72m ²	
	デイサービスセンター		
	鉄骨造2階建（西伊豆町より福祉センターを一部貸与）		
介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号	平成13年11月12日 指定介護老人福祉施設[2270100247] （特別養護老人ホーム 太陽の里）		
	平成13年11月12日 指定短期入所生活介護事業所[2270100247] （老人短期入所 太陽の里）		
	平成13年4月15日 指定通所介護事業所[2270100213] （デイサービスセンター 太陽の里）		

特別養護老人ホーム太陽の里 令和6年度 施設サービス基本方針

運営目標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 持続可能な法人経営を目指して</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 喀痰吸引・経管栄養（胃瘻）が必要な利用者の受入れ体制の充実を目指し、職員の計画的な養成を行い、特養利用者及び短期利用者に安心と安全を提供する。 • 西伊豆町地域住民に対して、介護予防及び生活支援の充実を図るため、西伊豆町からの委託事業を通じて地域の福祉課題等を解決する一助とする。 • 特養・短期・通所の数値目標の達成を目指すために、毎月の数値管理を行う。また、各居宅支援事業所と緊密な連携をし、西伊豆町及び松崎町の利用者ニーズへの対応を積極的に行う。
<p>2. コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 介護サービスを安定的かつ継続的に提供するために、自然災害及び感染症に対応する事業継続計画（BCP）を研修及び訓練を通じて見直すとともに、職員に周知する。 • 新型コロナウイルス感染症をはじめとした各種感染症を施設に持ち込まないように、感染情報の収集を行う。特に短期・通所サービス利用の家族状況の把握を行い、職員の感染予防意識が低下しないように随時発信していく。 • 介護保険法令を熟知する中で、事故防止、身体拘束廃止及び高齢者虐待防止対策を検討する委員会を3ヶ月に1回以上開催する。また、昨年度実施した「不適切介護事案に対処するためのアンケート結果」を踏まえ、課題解決のための改善活動を実施する。 • 事故防止、身体拘束廃止及び高齢者虐待防止を目的に、研修を実施する。また外部研修に職員を参加させ意識の共有を図る。
<p>3. 人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 認知症ご利用者の行動・心理症状の発現を未然に防ぐこと、また出現時に早期に対応するため、個人個人の対応を検討する会議を随時開催する。技術的な指導力向上のため、職員を専門的研修に参加させ、研修修了者を中心にサービス担当者会議をし、介護現場での実践につなげる。 • 介護関連の情報の収集・分析、現場へのフィードバックを通じて、科学的に裏付けに基づく介護の普及・実践を図るため、科学的介護情報システム（LIFE）を活用し、フィードバック情報による利用者の状態やケア実績の変化を踏まえた介護現場での検討、振り返り、見直しをすることにより質の高い介護に努める。 • ハラスメントを生まない職場環境づくりのため、外部のハラスメント防止研修（年2回）に参加し、基本的な知識を学ぶ。 • 各事業において、厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築に向けた取り組みを実施する。

特別養護老人ホーム太陽の里
令和6年度 年間行事計画

	特養	ショート	特養（給食）	デイサービス
令和6年 4月	花見ドライブ	こいのぼり 作り	お花見献立&おやつ	町内散策（松崎町・西伊豆町）
5月	スイーツ バイキング		端午の節句&おやつ	端午の節句 母の日（スイーツバイキング）
6月	紫陽花見学	七夕かざり 作り	とくてん付き（短期）	父の日（串カツバイキング）
7月	魚すくい大会		七夕献立&おやつ	七夕（そうめんバイキング）
8月	かき氷を楽しむ会		スタミナ献立	暑気払い（スイカ割り） 終戦記念日
9月	敬老会	敬老会	敬老会献立&おやつ	敬老会（祝い膳）
10月	運動会		体育の日献立&おやつ	運動会（運動会弁当）
11月	焼き芋会	焼き芋会	勤労感謝の日 献立&おやつ	ふれあい広場参加 文化展参加 秋分の日（おはぎ）
12月	クリスマス会	絵馬作り	クリスマス献立&おやつ	クリスマス（クリスマス献立） 冬至 忘年会（ゆず湯）
令和7年 1年	新春カラオケ大会		おせち料理献立&おやつ 鍋献立（特養）	鏡開き（お汁粉・七草がゆ） 福笑い 書初め
2月	節分会	ひな人形 作り	節分献立&おやつ 鍋献立（短期）	節分 バレンタインデー
3月	ひな祭り		ひな祭り献立&おやつ	ひなまつり（甘酒） 春分の日（ぼた餅） 町内散策（松崎町・西伊豆町）

年間を通した取組み

- （特養）
- ・毎月実施行事：誕生日会
 - ・ご利用者の楽しみでもある食事を通して五感で四季を感じられる行事を行い、生活意欲の向上を図る

- （特養給食）
- ・リクエスト献立（おまかせ献立、郷土献立など）
 - ・おやつ作り：特養（随時）
短期（随時）

- （通所）
- ・毎月実施行事：お誕生日会

特別養護老人ホーム太陽の里
令和6年度 数値目標

部 門	目標値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 100%	稼働率 100%を維持できるように入退所手続を迅速に行い、空きベッドを作らないように努力するとともに、優先入所指針に従う。 認知症自立度Ⅲ以上の割合 65%以上、または、介護度 4・5 の割合 70%以上を維持し、日常生活継続加算の算定要件に準拠した利用者獲得をする。
短期入所	稼働率 100%	緊急利用ニーズに対応をする。また、特養の空きベッドを転床するなどして、稼働率 100%を目標とする。
デイサービス	稼働率 76% (1日当たり 23.0名) 1ヶ月延べ 490名以上	一日平均 23.0名以上を目標とし、60名以上の登録者数を目指す。 松崎町へ営業範囲の拡大をする事で利用者を獲得する。

社会福祉法人梓友会 介護老人福祉施設みくらの里 令和6年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 介護老人福祉施設みくらの里
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所みくらの里
- 指定通所介護事業 デイサービスセンターみくらの里
- 指定居宅介護支援事業 ケアプランセンターみくら

目次	
施設の概要	2
令和6年度 介護老人福祉施設みくらの里施設サービス基本方針	3
令和6年度 介護老人福祉施設みくらの里 年間行事計画	4
令和6年度 介護老人福祉施設みくらの里 数値目標	5

施設の概要

施設の名称	介護老人福祉施設みくらの里		
所在地	静岡県下田市吉佐美1086番地		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川島 優 幸		
施設長	川島 優 幸		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成17年 2月25日	介護老人福祉施設みくらの里 老人短期入所みくらの里	
	平成17年 2月25日	デイサービスセンターみくらの里	
	平成26年 4月 1日	ケアプランセンターみくら	
各事業定員	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	80名	
	老人短期入所（ショートステイ）	20名	
	デイサービスセンター	1日30名	
	居宅介護支援事業所		
敷地面積	15,027.19 m ²		
建築面積	特別養護老人ホーム（老人短期入所、ホームヘルプサービスおよび地域交流入所を含む） 鉄筋コンクリート3階建 5,456.12m ² デイサービスセンター 鉄筋コンクリート造 404.54m ² 在宅介護支援センター 鉄筋コンクリート造 97.10m ² 合 計 5,957.76m ²		

介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号

指定介護老人福祉施設（介護老人福祉施設みくらの里）	
平成17年 2月25日	2270200179
指定短期入所生活介護事業所（老人短期入所みくらの里）	
平成17年 2月25日	2270200179
指定通所介護事業所（デイサービスセンターみくらの里）	
平成17年 2月25日	2270200179
指定居宅介護支援事業所（ケアプランセンターみくらの里）	
平成17年 2月25日	2270200179

介護老人福祉施設みくらの里

令和6年度 施設サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 持続可能な法人運営を目指して</p> <p>(1) ICTソリューションを活用したデジタル化の推進</p> <p>(2) 社会福祉法人としての公益性の重視</p> <p>(3) 経営規模の適正化</p> <p>2. コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止</p> <p>(1) 透明性の確保と情報の共有</p> <p>(2) 研修体制の整備</p> <p>3. 人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営</p> <p>(1) 外国人人材、新人職員の定着化</p> <p>(2) 業務の生産性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の指針においても介護における業務内容について、数値化しフィードバックを行い現場に活かしていくことが求められている。ご入居者やご利用者の情報について客観化し、職員全体で共有して共通のルールに基づいて業務を行うことで持続可能な運営を目指す。 ・ 社福としての公益性を担保する運営を実施し、賀茂圏域における高齢者介護の充実のため地域のニーズに応え、入所、ショートステイ、デイサービスにて積極的に受け入れを図る。 ・ 今後の賀茂地域の福祉ニーズ人材は、超過死亡等による地域ニーズの減少や職員の不足による勤務体制構築の困難さが予想されている。そのような事態を防ぐべく、運営の適正化を図り、将来の定員数等の見直しを行なう。 ・ 虐待防止対策に関する義務が加わり、不適切事案や事故に対する危機管理はさらに重要度を増している。内部（事故防止委員会、リーダー会議、グループ会議等）において情報が広く共有されるよう、各会議の議事録とケース記録等の連動を図り、適時に振り返りを行い再発防止に努める。 ・ コンプライアンスの徹底は急務であり、三大介助等の基本技術の向上から法制度の習熟も含めた範囲での研修を行う。法定研修をベースに、各月においてテーマを決めて研修を行うことで、年間を通じて学び実践していける環境を整え、ケアの質向上を目指す。 ・ 環境や言語に不慣れな中で働く意欲を高く持っている外国人人材に対し、既存の技能実習生との交流も含めて随時バックアップを行い、職員の定着を図る。また、新入職員のフォローアップを図り現場でのコミュニケーションを綿密にすることで退職リスクを減少させる。 ・ 業務の生産性向上について毎月の会議で検討する。身の回りの整理整頓からICT活用を交えた業務内容の見直しまで幅広く検討することで、施設全体での効率化を図り、LIFE に対応するケアの充実を実施する。

介護老人福祉施設みくらの里
令和6年度 年間行事計画

	特 養・ショート	デイサービス	居宅介護支援
令和6年 4月	桜花見（下田） 大賀茂れんげ祭り	春の散策	
5月	端午の節句	こいのぼり会 バイキング	こいのぼり会（地域貢献） 下田市介護支援専門員連絡会
6月	下田公園紫陽花見学	下田公園紫陽花見学	南伊豆町介護支援専門員連絡会
7月	かき氷会	七夕会	下田市介護支援専門員連絡会 介護者交流会 ①
8月	夕涼み会 すいか割り	すいか割り 納涼祭	南伊豆町介護支援専門員連絡会
9月	敬老会	敬老会	
10月	お月見会	大運動会	
11月	寿司バイキング 焼き芋会	介護者交流会	南伊豆町介護支援専門員会 介護者交流会 ②
12月	クリスマス会 餅つき大会	クリスマス会	下田市介護支援専門員連絡会
令和7年 1月	新年会	書初め お正月遊び	
2月	節分 開設記念日祝（2/25）	節分会	南伊豆町介護支援専門員連絡会 介護者交流会 ③
3月	ひな祭り会 物故者慰霊祭 みなみの桜まつり見学	ひな祭り会 みなみの桜まつり見学	下田市介護支援専門員連絡会

その他、各ユニットにおいては、下記のような内容を日常生活の中に取り入れ、随時実施していく。
（誕生会、買い物等の外出、おやつ作り、その他ユニット単位の行事）

介護老人福祉施設みくらの里
令和6年度 数値目標

部 門	目 標 値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 98.5% (月平均空床数 37 床以内) 認知症自立度Ⅲ 65%以上	特養の稼働率は 98.5%を維持できるように入退所手続を迅速に行い、空きベッドを作らないように努力するとともに優先入所の指針に従い、認知症自立度Ⅲ以上の割合 65%以上を維持する。
短期入所	稼働率 90.0% (月平均空床数 62 床以内)	特養の空きベッドを転床するなどして、稼働率 90.0%以上を目標とする。
デイサービス	稼働率 73.3% (1 日当たり 22.0 名) 1 ヶ月延べ 484 名以上	1 日当たり 22.0 名以上(1 ヶ月平均 484 名/月以上)の利用者を目標とするとともに要介護度3以上の利用者増加を目指す。
居宅部門(ケアマネ)	ケアプラン 121 件以上 (ケアマネ 1 人当たり 30 件以上)	年間平均 121 件/月以上を目指すとともに業務省力化と経費の適正支出に努める。

社会福祉法人梓友会

小規模多機能型居宅介護みくらの里

令和6年度 事業計画

●指定小規模多機能型居宅介護 小規模多機能型居宅介護みくらの里

目次	
施設の概要	2
令和6年度 小規模多機能型居宅介護みくらの里 サービス基本方針	3
令和6年度 小規模多機能型居宅介護みくらの里 年間行事計画	4
令和6年度 小規模多機能型居宅介護みくらの里 数値目標	5

施設の概要

施設の名称	小規模多機能型居宅介護みくらの里		
所在地	静岡県下田市吉佐美1077番地16		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川島 優 幸		
所 長	平 山 悦 子		
沿 革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開 設	平成26年 4月 1日 小規模多機能型居宅介護みくらの里		
事業定員	小規模多機能型居宅介護	登録者数	29名
		通い定員	18名
		宿泊定員	5名
敷地面積	1,990.32 m ²		
建築面積	小規模多機能型居宅介護（みくら保育園を含む） 木造平屋建 489.24m ²		
介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号	下田市地域密着型サービス（小規模多機能型居宅介護みくらの里） 平成26年 4月 1日 （事業所番号）2290200019		

小規模多機能型居宅介護みくらの里

令和6年度 施設サービス基本方針

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 持続可能な法人経営を目指して</p> <p>(1) 持続可能な運営体制整備</p> <p>(2) ICT 導入によるケアの質の向上</p> <p>(3) 地域での相談拠点としての役割の遂行</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自然災害、感染症発生時のシュミレーションを各 1 回ずつ行い、実態に即した対応計画に見直しを図ることで、災害にも感染症にも強い施設体制を作る。 また、災害に関しては施設内のみ強化だけではなく、地形、道路、交通状況等地域の情報把握にも力を入れ、送迎・訪問時の避難ルート確保や、地域の高齢者・障害者支援につなげる。 • ICT 導入により業務省力化を図り、利用者と向き合う時間や学ぶ時間を確保することで、資格取得やニーズに即した対応の遂行につなげ、満足度と質の高いケアの提供を行う。 • 包括支援センター、民生委員、地域住民等との連携を強化を図り情報を共有し、地域における介護相談窓口として健康講座や認知症予防講座、介護保険情報等を地域に向けて発信し、地域の誰もが立ち寄りやすい社会資源としての役割を担っていく。
<p>2. コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止</p> <p>(1) 不適切対応防止強化</p> <p>(2) 利用者の人権に配慮できる職員の育成、個別ケアの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2 ヶ月毎、虐待・身体拘束廃止委員会を開催し、職員一人一人のケア上、守るべき内容について認識の共有を図る。 また、事例をもとに苦情や対応方法について考える機会を作り、不適切対応防止に向けた勉強会を年 3 回行う。 • 利用者一人一人の生活に注視し、他と同じではないその人ならではの対応を自ら考え・動ける人材を育成するため、毎月ケア検討会を行い気づく・考える力を身に着ける。
<p>3.人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営</p> <p>(1) 働きやすい職場環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リフレッシュ休暇や NO 残業デーの設定を取り入れ、公私ともに充実した働き方ができる職場づくりを推進する。 また、業務を分業化し仲間とシェアすることで残業時間の削減を目指し、効率とスキルの向上を目指す。

小規模多機能型居宅介護みくらの里

令和6年度 年間行事計画

	小規模多機能型居宅介護みくらの里	地域の行事
令和 6年 4月	施設外周のガーデニング活動 散歩等、屋外活動の強化	大賀茂れんげ祭り
5月	ジャスミン見学 こいのぼりの壁画	黒船祭
6月	あじさい見学ドライブ 夏野菜の栽培	
7月	七夕会（保育園交流） おやつ作り（星のゼリー）	
8月	水遊び（保育園交流） 夏野菜収穫祭	弓ヶ浜花火大会
9月	敬老会（保育園交流） 特別食の提供	
10月	運動会 ハロウィン会（保育園交流）	
11月	みくら文化祭 冬の植物ガーデニング	総合防災訓練
12月	クリスマス会（保育園交流） おやつ作り（ケーキ）	地域防災訓練
令和 7年 1月	初詣（みくら天満宮） 正月遊び	大賀茂どんと焼き
2月	節分会（保育園交流） みなみの桜と菜の花見学	
3月	ひなまつり（保育園交流） おやつ作り（ひなまつり）	津波避難訓練

・2か月に1回、運営推進会議を開催する

小規模多機能型居宅介護みくらの里

令和6年度 数値目標

部 門	目 標 値	内 容
小規模多機能型居宅介護	実利用者数27名 (登録者数27名以上)	利用可能枠の有効的活用と、ニーズに合わせて個々の生活力の維持・向上に向けたサービス力の強化を図り、安定した経営に努める

社会福祉法人梓友会 介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 令和6年度 事業計画

- 指定介護老人福祉施設 介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
- 指定短期入所生活介護事業 老人短期入所エクレシア南伊豆
- 指定通所介護事業 デイサービスセンターエクレシア南伊豆

目次		
施設の概要		2
令和6年度	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 施設サービス基本方針	3
令和6年度	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 年間行事計画	4
令和6年度	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 数値目標	5

施 設 の 概 要

施設の名称	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆		
所在地	静岡県賀茂郡南伊豆町加納 792 番地		
設置主体	社会福祉法人梓友会		
理事長	川 島 優 幸		
施設長	江 渡 隆		
沿革	昭和63年10月24日 社会福祉法人梓友会 設立認可		
開設	平成30年3月5日	介護老人福祉施設エクレシア南伊豆 老人短期入所エクレシア南伊豆 デイサービスセンターエクレシア南伊豆	
各事業定員	特別養護老人ホーム	90名	
	老人短期入所（ショートステイ）	10名	
	デイサービスセンター	1日	25名
敷地面積	6,619.64㎡		
建築面積	木造一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上3階建 5,968.06㎡		
介護保険法指定事業及び指定日・事業所番号	平成30年3月5日・2270100825		

**介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
令和6年度 施設サービス基本方針**

運 営 目 標	目標実現のための具体的方法
<p>1. 持続可能な法人経営を目指して</p> <p>(1) 感染症対策と業務継続に向けた取組みの強化</p> <p>(2) 杉並区からの入居者に対する積極的なアプローチ</p> <p>(3) 地域との更なる連携の深化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 各種感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築する。また、年度を通じて各事業において計画的な研修や訓練を実施し、継続的な見直しを実施する。 • 杉並区からの入居者を安定的に確保するために、各種取組みを企画運営する。具体的には、区内での入居相談会の開催、家族面会バスツアーの開催などを実施する。あわせて、昨年度からの継続案件として、リロケーションダメージに関する調査研究を実施する。 • 地域の中で更なる多職種を基本に地域住民との連携を推進するための取組みを実施する。賀茂地域では地元小中高校や保育園、社協と連携した事業を実施する。また、杉並区においてはケアマネ協議会や社協とオンラインを活用した交流事業などの実施も模索する。
<p>2. コンプライアンス経営の徹底と不適切事案及び事故防止</p> <p>(1) 関係法令遵守への対応</p> <p>(2) 施設における事故防止の取組み</p> <p>(3) オンライン動画研修の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 昨今の各種不適切事案の事例を基に、適時必要な対応を検討し、コンプライアンスへの対応を行う。今年度は各種研修では必要な専門家による研修会を実施し、職員一人ひとりの高い倫理観の醸成に努める。 • 各事業において、ソフトとハード面からの現状把握を行い、必要な対応策（マニュアルの改定や物品の購入）を検討する。また、各種委員会の議事録の整備を実施する。 • 昨年度に引き続きオンライン動画研修を活用し、法令遵守のスキルアップと人財育成を行う。
<p>3. 人材確保対策の強化と職場環境の充実を図る経営</p> <p>(1) 業務・職場環境の改善および魅力ある職場づくり</p> <p>(2) ICT 機器の活用の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 介護現場における職員の適正配置を実現し、働きやすい職場環境を構築する。また、現状の業務分析など業務の見直しを実施することにより、労働生産性の向上に努める。 • 見守り機器、各種センサーや介護ソフトなど ICT 技術の活用を通じて、介護サービスの質の向上および職員の業務効率化や負担軽減を含めた改善を模索する。

介護老人福祉施設エクレシア南伊豆
令和6年度 年間行事計画

	特 養・ショート	デイサービス	栄養室関係
令和6年 4月	春の散歩・お花見 手作りおやつ：おはぎ ST 昼食イベント：サンドイッチ 杉並区役所ロビーPR活動	お花見会 昼食イベント お花見弁当	お花見献立 (春の散らし寿司)
5月	手作りおやつ：マドレーヌ ST おやつイベント：あんこ和菓子	昼食イベント お好み焼き&焼きそば	こどもの日・母の日 春のお花見 和菓子屋台
6月	ST 昼食イベント：焼きそば・お好み焼き 手作りおやつ：どらやき あじさい見学 杉並区役所ロビーPR活動	昼食イベント サンドイッチ&唐揚げ 手作りおやつイベント ドーナツ	父の日
7月	おやつイベント：かき氷トッピング	昼食イベント スタミナ丼 具沢山うどん	七夕・海の日・ 土用の丑の日(うな丼) 冷菓イベント(カフェ) 季節の味(スイカ)
8月	ST・1A 夕食イベント： ミニ納涼祭 納涼会 杉並区役所ロビーPR活動	納涼昼食イベント 夏野菜の天ぷら	山の日 かき氷屋台
9月	敬老会 ST 昼食イベント：秋の行楽弁当	敬老会 昼食イベント のっけ寿司	敬老の日・十五夜・ 秋分の日
10月	おやつイベント：お月見和菓子 手作りおやつ：蒸しパン みかん、柿狩り フェスタ南伊豆 杉並区役所ロビーPR活動	昼食イベント 野菜コロケ 手づくりおやつイベント お月見まんじゅう	ハロウィン お月見屋台
11月	おやつイベント：サツマイモ紅葉見学 3C 南伊豆郷土の日 ミニ祭り 総合防災訓練 すぎなみフェスタ	お寿司イベント さつま芋汁・炊き込み 御飯とおにぎり	秋祭り献立 お寿司屋イベント
12月	ST 昼食イベント：クリスマス洋食 クリスマス会 杉並区役所ロビーPR活動	Xmasイベント 昼食イベント ナポリタン&シチュー 手づくりおやつイベント ロールケーキ 年末餅つき大会	冬至・クリスマス・ 大晦日(年越しそば)
令和7年 1月	ST 昼食イベント：パツと温かい入づ 手作りおやつ：お汁粉 正月あそび 初詣 新年会	鏡開き	正月料理(おせち料理) 七草粥 小正月 季節の味(みかん)
2月	バレンタインチョコレート菓子 手作りおやつ：ロールケーキ 節分 みなみの桜まつり見学 杉並区役所ロビーPR活動	昼食イベント 太巻き&稲荷ずしと豚汁 手づくりおやつイベント バレンタイン洋菓子	節分・バレンタインデー 天皇誕生日&富士山の日 季節の味(いちご) バレンタイン洋菓子屋台
3月	昼食イベント：ひなまつり寿司 開設記念日 総合防災訓練	お寿司イベント おはぎ(彼岸)	ひな祭り・春分の日・ 開設記念日

※ただし、感染症の状況等により各種イベント等の変更・中止もあり。

**介護老人福祉施設エクレスシア南伊豆
令和6年度 数値目標**

部 門	目標値	内 容
特別養護老人ホーム	稼働率 98.0%	特養の稼働率は 98.0%を達成できるように杉並区及び賀茂地区からの入退所手続を迅速に行い、空きベッドを作らないように努力する。
短期入所	稼働率 95.0%	特養の空きベッドを転床利用するなどして、稼働率 95.0%を目標とする。
デイサービス	稼働率 84.0% (1日当たり約 21.0名) 1カ月延べ平均 420名以上	1日当たり 21.0名以上を目標とする。 あわせて、要介護度 3以上の利用者増加を目指す。